

週間漁海況情報—第25号

平成24年6月25日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.green.pref.tokushima.jp/suisan/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

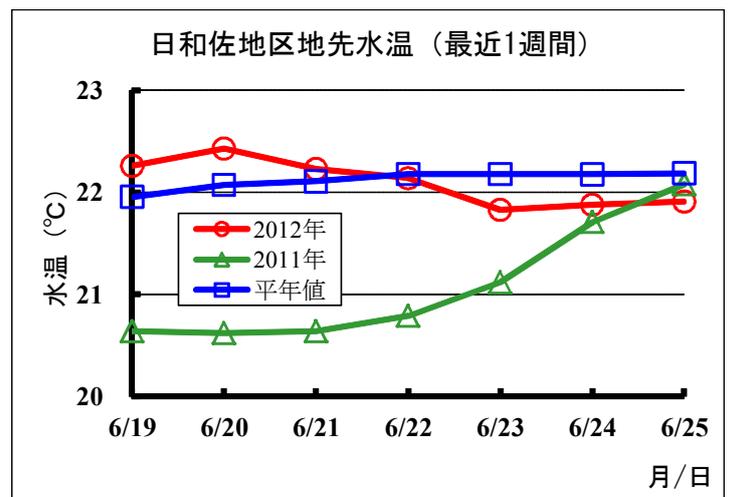
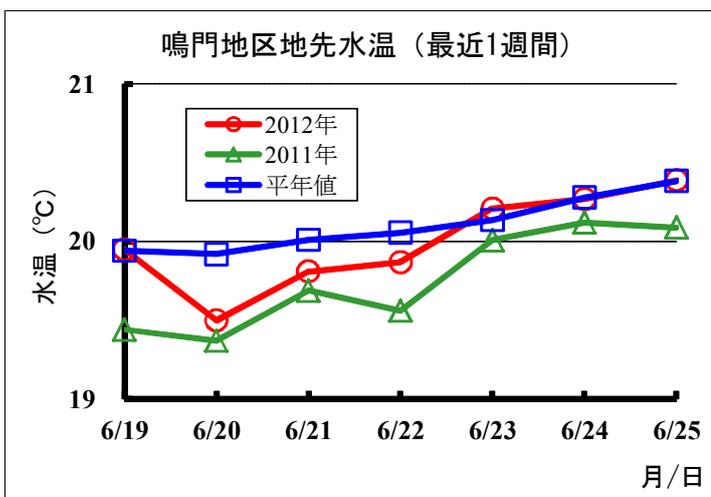
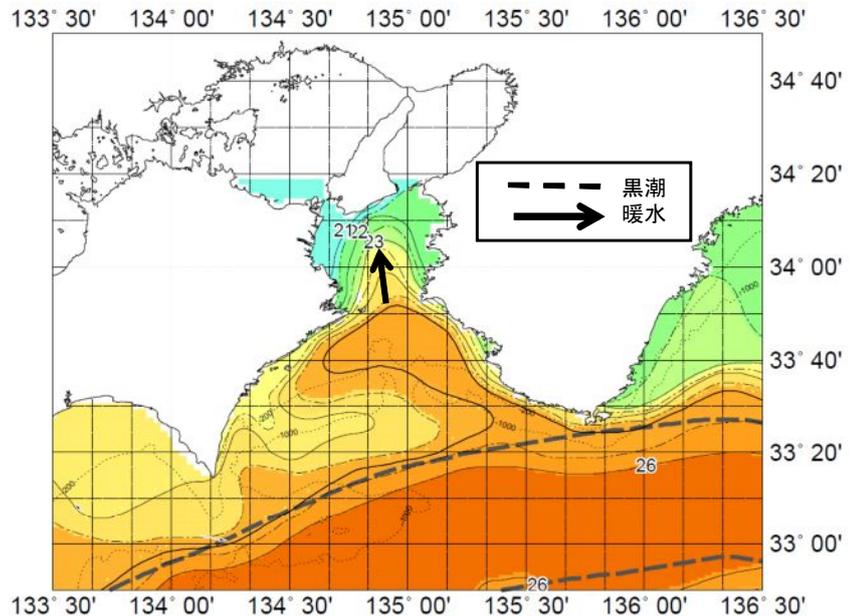
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.6.25）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、24～26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で20℃台、紀伊水道で20～23℃台、海部沿岸で22～24℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県沿岸から反時計回りの暖水流入があり、海部沿岸では、内海系水の南下が見られる。また、暖水の一部は紀伊水道内部に進入している。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の19.5～20.4℃、日和佐地区は「平年並み」の21.8～22.4℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の22.8～23.7℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

18日頃から台風4号等の影響を受けたため、出漁回数が少なかった。

小型定置網：海部沿岸で、マイワシが0.3トン（1日1隻当たり39kg）、マメ主体にマアジが0.3トン（同42kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが1.2トン（同149kg）、中主体にキハダが1.1トン（同164kg）、紀伊水道で、タチウオが0.3トン（同32kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが11.6トン（同375kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 6月18日～6月24日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マイワシ	7	270	39	
		マアジ	6	250	42	マメ主体
釣り	海部沿岸	カツオ	8	1,191	149	中主体
		キハダ	7	1,148	164	中主体
		紀伊水道	タチウオ	10	317	32
パッチ網		シラス	31	11,625	375	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年6月20～6月26日においては、海部沿岸では、延縄でカサゴが0.3トン、小型定置網で、トビウオ類が0.2トン、小・小小主体にマアジが3.8トン、小小主体にサバ類が0.3トン、大型定置網で、特大主体にイサキが0.3トン、イワシ類が0.3トン、クロマグロが9本で0.4トン、小主体にゴマサバが2.4トン、小主体にシイラが13.0トン、小主体にスルメイカが0.5トン、ブリが0.4トン、メジロが0.3トン、マメ主体にマアジが6.6トン、中主体にマダイが0.2トン、マルソウダが0.7トン、大主体にマアジが2.3トン、マダイが0.2トン、マルソウダが3.1トン、釣りで、中主体にキハダが0.2トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の20～21℃台、日和佐地先で「平年並み」の21～22℃台で推移する見込み。